

つぶやき

このコーナーでは各県の相談に対するとりくみ等を紹介していきます。

開設26周年を迎えた柳川・みやま「心理・教育相談室」

—夏期宿泊研修会で悩みを交流—

子どもや保護者、教職員の悩みに応えようと、「心理・教育相談室」を開設して26年目になります。

当相談室の一つ目の特徴は、臨床心理士の岡崎先生によるカウンセリングがあることです。月1回の相談日には平均4件の相談があり、年間では約50件になります。

また、面談後の事例検討会では自由な雰囲気の中で多くの先生方の話を聞くことができ、話すことで気持ちが軽くなったと、参加した教職員からは好評です。

二つ目の特徴は、毎年夏休みに教職員対象の夏期宿泊研修会を実施し、今年で20回目を迎えたことです。1日目の午前中には、参加者の自己紹介を兼ね自分が抱える問題を語ってもらい、午後は午前中の話を

整理し、講師の岡崎先生がそれぞれ助言します。さらに今年は、教職員が小学校・中学校に分かれ“中1ギャップ”について意見交換し、大変参考になりました。2日目の午前中は、参加者の事例を取り上げそれぞれのケースについて皆で検討し、岡崎先生がまとめてアドバイスをします。参加者は2日間で延べ47人あり、“かんぼの宿柳川”に宿泊した14名は心ゆくまで交流を深めました。

不登校や発達障害の子どもたちが増加傾向にある中、真に子どもの側に寄り添った対処の仕方が求められており、当相談室の果たす役割はますます重要になってきていると考えます。

柳川・みやま
「心理・教育相談室」

●住所

〒832-0815 福岡県柳川市三橋町白鳥 490-3

TEL 0944(73)1933

相談日

◎毎月第3木曜日（無料）

- ・講師によるカウンセリング 17:00～
（子ども・保護者・一般・教職員対象）
- ・事例検討会（教職員対象）19:00～21:00

◎毎月第1木曜日（無料）

- ・相談員による相談活動（教職員対象）



白秋が愛した水郷柳川



白秋の故郷柳川は、掘割に浮かぶ城下町です。網の目のように張り巡らされた掘割をどんこ舟で巡ると、四季折々の花々や水の郷らしい風情を楽しむことができます。特に3月の「さげもんまつり（雛祭り）」は、市内のそこかしこに吊るし飾りが下がり、初節句巡りやお雛様水上パレードなどのイベントも多く、たくさんの観光客で賑わいます。ぜひ一度柳川にいらしてください。

柳川市観光協会 TEL 0944-74-0891 FAX 0944-72-9013

ホームページ <http://www.yanagawa-net.com>